

No.15 第2793回 令和5年10月30日

今週の歌:それこそロータリー

プログラム 「会員卓話」
井村正身会員、蘆田裕三会員

会長 高瀬幸一郎 幹事 東口喜樹
例会日 月曜日 12:30-13:30
例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel:0795(23)2000
事務局 西脇商工会議所内
〒677-0015 西脇市西脇 990
Tel:0795(22)3901 Fax:0795(22)8739

RIテーマ : CREATE HOPE in the WORLD ~世界に希望を生み出そう

表彰

○マルチプル・
ポールハリス・フェロー
金田 実会員



10月23日(月) 第2792例会記録

◎お客様

米山記念奨学生 李 萌様 (宝塚RC)
カウンセラー 賛田 肇様 (宝塚RC)

◎出席・・・会員数 47 名 出席 37 名 MU 1 名
(出席免除会員 10 名・休会 3 名)

会長の時間

高瀬幸一郎会長

公共イメージセミナーの報告をさせていただきます。先週、矢納会員のご報告と被ることになりますが、お許しください。丸尾パストガバナー、吉岡パストガバナーの講演内容の要約です。ロータリーは公共イメージと認知度の向上を図るため、会員一人ひとりが広報マン、奉仕活動の広報にチャレンジすることを求めています。かつてロータリーには「陰徳の美学」(密かにするよい行い)がありました。よい行いを世間様にお知らせする必要はない、感謝されたり褒められたりすることを期待してイイコトするのではないという考え方でした。初めて教えていただいたときは、この「陰徳」のかっこよさに痺れました。反対に「陽徳」は認められ、褒めてもらえることを前提にイイコトをすることです。公共イメージ向上はまさに「陽徳」にあたる行動と言えるかもしれません。陰徳、陽徳どちらが良くてどちらが悪いということではなく、とにかくイイコトをすることにかわりはありません。ロータリーの認知度が特に若い世代で低いのは、ロータリーの「陰徳」が影響している面もあるのでは



ないかということです。またロータリーの職業倫理は外に発信する必要がないこと、入会してから学び、自ら実践するという内向きの発想がロータリーの認知度向上に繋がってこなかった一因かもしれません。だから公共イメージの向上を図るうえで、ポリオ根絶活動、ロータリー財団の慈善団体格付け 14 年連続 4 星 (最高評価) 獲得、留学生を迎え入れ平和を求める日本人との信頼関係を築くことを目的する米山記念奨学会の活動等、ロータリーがイイコトしていることを品位と節度をもって発信していくことが大切になってくるとのことです。発信するときは世間をなめたような内容は当然 NG です。特に電子媒体 (SNS) を利用して発信する場合は「表現の自由」と「抗議する権利」があることを強く意識することが必要です。ちなみに、米山梅吉は「他者への思いやりと助け合いの精神」を、身をもって行いつつ、そのことについて多くを語らなかつた陰徳の人でした。吉岡パストガバナーによりますと、米山梅吉の最晩年は経済的に破綻していたとのこと。としてもその功績は日本のロータリーの歴史に燦然と輝いています。

幹事報告

(来信)

- ガバナー事務所より、立法案検討会における委任状の取り扱いと選挙人以外の会員の出席について
- 加古川中央RCより、創立 50 周年記念式典に際しての礼状
- 西脇商工会議所より、「にしわき産業フェスタ 2023」PR チラシ等

委員会報告

○職業奉仕委員会

西山孝彦委員長

10 月 22 日(日)に開催された職業奉仕セミナーに高瀬会長と参加して参りました。講師は京都東RC

の橋本長平 PDG で、「職業奉仕はロータリーの本質」と題して、大変勉強になるセミナーでした。今までで一番わかりやすいセミナーでした。今年度、例会で「職業奉仕セミナー」を1回予定していますので、その中でフィードバックしていけたらと思います。

○社会奉仕委員会 竹内伸吾委員長

12/3「発達障害の講演会」のポスターが来ておりますので、事業所等に貼っていただける方がありましたら、お申し出ください。

ニコニコ箱

高瀬(幸)会員 西山会員にお世話になりました。ありがとうございました。

竹内会員 申し訳ございません。早退します。

村上会員 長い間勝手しました。なんとか復帰しました。

渡会会員 賛田様、李萌様、本日はよろしくお願ひ致します。

数原会員 ちょっと、良い事がありました。

戸田会員 出席委員会の皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

小澤会員 先週も嬉しい事がありました。

藤井(英)会員 出席委員会及び戸田会員に大変お世話になりました。

※本日のニコニコ 23000 円

誕生日・結婚記念日・連続出席 5,000 円

※本年度累計額 (10/23 現在) 629,000 円

🌸 本日の花: ピンポソム・スターチス

プログラム

**「20世紀前半に来日した
中国人建築学生」
ロータリー米山記念奨学生
李萌さん(宝塚RC)**



歴史背景

- ◆ 1901年「文部省直轄学校外国人特別入学規程」を制定
1905年11月「清國人ヲ入学セシム公私立学校ニ關スル規程」を制定した。
1907年「五校特約」：日本側は無償で中国人留学生を受け入れ、清政府は日本学校の補助費と留学生の学費と生活費を負担した。
- ◆ 近代技術人材を培うため、米国より、日本は文化や地域の優位を持っている
- ◆ 近代中国の米国留学予備学—清華大学堂が設立されたが、実際には、日本への留学が其れより早い、人数も多かった。1906年だけ、日本に派遣された留学生は7000名を超えた。

01 中国建築留学生の受け入れ機関

1901年「文部省直轄学校外国人特別入学規程」を制定
1905年11月「清國人ヲ入学セシム公私立学校ニ關スル規程」を制定した
1907年「五校特約」



中等教育機関に留学した中国人は21名であり、最初に入学した機関は工手学校であった。現在知られている建築系卒業生である張嘉璈は1908年に工手学校を卒業した。
1903年施行の専門学校令に基づき旧専門学校は中国人建築留学生の最も主要な留学機関である。来日中国人建築留学生は数計24名のうち、157名が旧専門学校出身である。東京工業大学の前身である東京高等工業学校の留学生の数は最も多く、108名である。

日本の大業に入学した者は89名確認できたが、その大半は1930年代の入学である。大業の中には多くの中国建築留学生を受け入れたのは、東京工業大学である。東京工業大学の前身である東京高等工業学校は「五校特約」「長期特約」の制度によって授業料免除を継続した。

Table 1 Number of Chinese architecture students studying in Japan by schools and years

Classification of education institutions	Institution	Year	Number of students	Institution		Total
				Number	Percentage	
University	東京大学	1902	1	1	1	
	東京大学	1903	1	1	1	
	東京大学	1904	1	1	1	
	東京大学	1905	1	1	1	
	東京大学	1906	1	1	1	
	東京大学	1907	1	1	1	
	東京大学	1908	1	1	1	
	東京大学	1909	1	1	1	
	東京大学	1910	1	1	1	
	東京大学	1911	1	1	1	
Specialized school	東京高等工業学校	1902	1	1	1	
	東京高等工業学校	1903	1	1	1	
	東京高等工業学校	1904	1	1	1	
	東京高等工業学校	1905	1	1	1	
	東京高等工業学校	1906	1	1	1	
	東京高等工業学校	1907	1	1	1	
	東京高等工業学校	1908	1	1	1	
	東京高等工業学校	1909	1	1	1	
	東京高等工業学校	1910	1	1	1	
	東京高等工業学校	1911	1	1	1	

02、建築学生の身分

入学資格

- 選科生: 年齢17歳、次のいずれも満たす者
三年以上工業に從事した者
工業学校卒業生
工業学校以外の実業学校及び中学校卒業一年以上
- (特設)特別予科生: 試験合格者
- (特別)本科生: 中学校卒業生、
専門学校入学試験合格者
実業学校の卒業生
- 研究生: 本科の卒業した学業優秀なる者
- 聴講生: 本科生徒の資格を持ち、適当な素養ありと認められた者

Table 4 A comparison of the different statuses of the Architecture Department in Tokyo Higher Technical School

身分	入学資格	入試科目	授業料	特約	修業年限
選科生	年齢17歳以上、かつ以下いずれか以上の条件を満たす者 1. 三年以上工業に從事した者 2. 工業学校卒業生 3. 工業学校以外の実業学校及び中学校卒業一年以上	国語、算術、物理、化学、図学、英語、数学、国語、英語、数学、図学、物理、化学、図学、英語	1902年以降、年度により異なるが、概して100円以上	1907年以降、年度により異なるが、概して100円以上	4年
特別予科生	試験合格者	国語、算術、物理、化学、図学、英語、数学、国語、英語、数学、図学、物理、化学、図学、英語	1902年以降、年度により異なるが、概して100円以上	1907年以降、年度により異なるが、概して100円以上	1年
本科生	中学校卒業生、 専門学校入学試験合格者 実業学校の卒業生	国語、算術、物理、化学、図学、英語、数学、国語、英語、数学、図学、物理、化学、図学、英語	1902年以降、年度により異なるが、概して100円以上	1907年以降、年度により異なるが、概して100円以上	4年
研究生	本科の卒業した学業優秀なる者	国語、算術、物理、化学、図学、英語、数学、国語、英語、数学、図学、物理、化学、図学、英語	1902年以降、年度により異なるが、概して100円以上	1907年以降、年度により異なるが、概して100円以上	4年
聴講生	本科生徒の資格を持ち、適当な素養ありと認められた者	国語、算術、物理、化学、図学、英語、数学、国語、英語、数学、図学、物理、化学、図学、英語	1902年以降、年度により異なるが、概して100円以上	1907年以降、年度により異なるが、概して100円以上	4年

03、留学経費と留学制度

中央政府、地方政府—官費生、省費生
民間機関—公費生

私費生

奨学金

「五校特約」の官費、文化事業部補助と「特選留学生」学費補助、文部省補助、授業補助、奨学金補助、経済援助、海外派遣費、海外費補助、海外派遣費、海外費補助、海外派遣費、海外費補助

1907年の日清戦で締結した「五校特約」制度を受けた中国建築留学生は東京高等工業学校の例をとり、清政府毎年6000円の日金金提供を受けていた。即ち、毎年一人200円で、校舎等の建設費と給費に充てられる。また、官費生は毎年1人450円(授業料50円、生活費毎月30円)の支給を受けていた。

1918年以後、中国人が日本への留学の減少し、西洋への留学が多くなったため、日本政府は中国人の日本留学により関心を寄せた。1919年から、日本政府は主に中国側から日本の学校へ補助金を支給していた。

03、留学経費と留学制度

1923年3月に第46回日本国会議で政府が建議した「対華文化事業特別会計法」が可決された。中国留学生には「一般留学生」と「特選留学生」に分けて、学費補助を行った。

「一般留学生」：欠費学生に対する学費や帰国旅費、官費生に対する奨学金、文部省直轄学校在学生授業料などの補助が主になっている。

「特選留学生」：専門教育の課程を修了した優秀な中国人にして、さらに日本において学術研究を継続する者は10名以内を选拔して学費を補助し、研究に従事させる制度を設けた。

03、留学経費と留学制度

Table 5 Study abroad subsidies of Manchukuo
満洲国の留学補助費

区分 Classification	留学補助費月額 Monthly subsidy		
	甲地方 First	乙地方 Second	丙地方 Third
大学本科 Undergraduate	55 圓以下 Under 55	40 圓以下 Under 40	20 圓以下 Under 20
専門学校並に大学附属専門学校 Specialized College and Specialty Division of University	45 圓以下 Under 45	40 圓以下 Under 40	20 圓以下 Under 20
高等学校特設高等科 Special Higher Division of High School and Preparatory Division	40 圓以下 Under 40	35 圓以下 Under 35	20 圓以下 Under 20
特設予科 Special Preparatory	35 圓以下 Under 35	30 圓以下 Under 30	—

調査により、254名留学生のうち、51名が満洲国出身である。満洲国政府は、独自の留学制度を定めた。このうちの21名の満洲国出身の建築学留学生在満洲国(文教部、民生部)の補助費を受けており、ほとんど東京工業大学及び予備科の在學生である。

卒業後の進路類型

・第三国経由で帰国したタイプ

このタイプは陳伯齊だけである。彼は 1931 年から 1933 年まで東京工業大学の建築学科の特設予科に在籍した。彼が日本に留学した期間中に満洲軍が起き、日本は満洲に実質的な戦争状態に陥った。彼はそれに応じて民間の抗日愛国活動に参加したため、送還された。

その後、1934 年にベルリン工科大学の建築学科に留学し、1939 年に卒業し、1940 年帰国した。帰国後、重慶大学、同济大学、中山大学、華南理工工科大学などの教員を歴任した。



この前示した4つの進路類型のうち、「日本に長期滞在中のタイプ」を除いたすべてのタイプの141名の留学生在が帰国した理由に「自己退職」タイプ。

留学建築学生の卒業後の進路

中国人建築留学生の卒業後の進路類型
中国人建築留学生の卒業後の就職状況

日本留学中国人建築学生の帰国後の就職機関

調査により、137名のうち95名が官庁で働いた経験があり、その多くが中央政府・地方政府にいたことが判明した。

今回の調査で、43名の建築留学生在が大学、工業学校、専科学校や職業学校など55校の教育機関に働いていたことが判明した。



日本留学中国人建築学生40名が卒業後、中国で建築事務所等に勤務していた。これらの事務所には中国人が経営する事務所だけでなく、日本人の事務所もあった。

卒業後の進路類型

・卒業後すぐに帰国したタイプ

4 類型の中でこのタイプが最も多く、現在、判明している人数は30名である。

この類型が 4 類型の中で最も多い理由として、彼ら個人の意志だけでなく、彼らが留学する際に支給された官費あるいは公費と呼ばれた留学経費との関係がある。

注：この時期、清国政府が派遣した留學生を官費と呼び、中華民国期には主に公費という単語が使われるようになった。



日本留学中国人建築学生の帰国後の就職機関

建築技師

中国では、Architect=建築家に相当する単語として「建築師」という単語を使っていた。1920年代には、中央政府、地方政府ともに建築師に関する制度を設けていた。中華民国政府は1923年に制定した「技師職階章程」に示された「技師」であり、そこに建築師が含まれていた。

政府機関

清末の日本留学中国人建築卒業生は少なく、東京高等工業学校、名古屋高等工業学校、工手学校、福岡工業学校の卒業生7名であった。このうち、4名が留學生帰国試験に参加して帰国した。

辛亥革命後、中国に成立した政権は複雑だったが、日本留学中国人建築学生は主に民国政府の内務部、教育部、司法部などの土木工務部に勤務し、各々が所属する建物の新築工事に担当した。

それ以外、日本留学中国人建築学生の多くは交通部で働いていた。交通部は当時の全国の鉄道・道路・電話・電報・郵便・水運・航空の計画・建設・管理・経営及び民衆交通事業の監督を担当していた。

卒業後の進路類型

・卒業後短期間だけ日本に滞在したタイプ

このタイプは、建築留學生が卒業後日本で実習や仕事をし、経験を積み、帰国して就職したタイプである。彼らは卒業後、日本の建築現場で技術を習得することが目的として滞在していた。これまでの調査で28名の留學生がこのタイプに属し、そのうち21名が東京高等工業学校の建築科卒業生であることが判明した。

これは東京高等工業学校が定めていた「現業練習」規程との関係があると推測される。この規程により東京高等工業学校の卒業生は1年以上の現場練習ができた。卒業生を委嘱入れた組織機関は現場練習証明書を発行し、その証明に基づいて学校が学生の成績を審査し、学生に「現業練習証明書」を与える制度であった。

他の学校について、規定の存在は確認できないが、実態として、同様の実習を行っていた留學生の存在がある。



日本留学中国人建築学生の帰国後の就職機関

民間企業

民間企業については、ここでは、建築事務所、建築会社と他の会社に分けて論じる。他の会社とは、主に上海新報印刷、自華印刷、大新公司等など、建築以外の事業を主たる業務とした会社を指す。日本留学中国人建築学生は、これらの会社で所有する工務、管理、オフィシャルなどの設計・監理を担当している。

中国人建築学生が求めた本業のひとつは、建築設計を中心とした建築活動である。その就職先として、建築事務所と建築会社があった。Fig.1に示した通り、日本留学中国人建築学生40名が卒業後、中国で建築事務所等に勤務していた。これらの事務所には中国人が経営する事務所だけでなく、日本人の事務所もあった。

地方	事務所/建築会社/その他
上海	華商四川建築部/王克敏、陳士英、劉景衡
天津	華商建築部/劉景衡、王克敏、劉景衡
北京	天津水師學校建築部/余慶雲
保定	華商建築部/李慶雲
漢口	華商建築部/李慶雲
廣州	華商建築部/李慶雲
重慶	華商建築部/李慶雲
成都	華商建築部/李慶雲
昆明	華商建築部/李慶雲
蘭州	華商建築部/李慶雲
西安	華商建築部/李慶雲
長沙	華商建築部/李慶雲
杭州	華商建築部/李慶雲
南京	華商建築部/李慶雲
蘇州	華商建築部/李慶雲
無錫	華商建築部/李慶雲
常州	華商建築部/李慶雲
揚州	華商建築部/李慶雲
南通	華商建築部/李慶雲
鎮江	華商建築部/李慶雲
徐州	華商建築部/李慶雲
濟南	華商建築部/李慶雲
青島	華商建築部/李慶雲
煙台	華商建築部/李慶雲
威海衛	華商建築部/李慶雲
龍口	華商建築部/李慶雲
周村	華商建築部/李慶雲
博山	華商建築部/李慶雲
濰縣	華商建築部/李慶雲
臨沂	華商建築部/李慶雲
德州	華商建築部/李慶雲
滄州	華商建築部/李慶雲
石家莊	華商建築部/李慶雲
保定	華商建築部/李慶雲
張家口	華商建築部/李慶雲
歸綏	華商建築部/李慶雲
包頭	華商建築部/李慶雲
太原	華商建築部/李慶雲
大同	華商建築部/李慶雲
長沙	華商建築部/李慶雲
衡陽	華商建築部/李慶雲
常德	華商建築部/李慶雲
重慶	華商建築部/李慶雲
成都	華商建築部/李慶雲
昆明	華商建築部/李慶雲
蘭州	華商建築部/李慶雲
西安	華商建築部/李慶雲
長沙	華商建築部/李慶雲
杭州	華商建築部/李慶雲
南京	華商建築部/李慶雲
蘇州	華商建築部/李慶雲
無錫	華商建築部/李慶雲
常州	華商建築部/李慶雲
揚州	華商建築部/李慶雲
南通	華商建築部/李慶雲
鎮江	華商建築部/李慶雲
徐州	華商建築部/李慶雲
濟南	華商建築部/李慶雲
青島	華商建築部/李慶雲
煙台	華商建築部/李慶雲
威海衛	華商建築部/李慶雲
龍口	華商建築部/李慶雲
周村	華商建築部/李慶雲
博山	華商建築部/李慶雲
濰縣	華商建築部/李慶雲
臨沂	華商建築部/李慶雲
德州	華商建築部/李慶雲
滄州	華商建築部/李慶雲
石家莊	華商建築部/李慶雲
保定	華商建築部/李慶雲
張家口	華商建築部/李慶雲
歸綏	華商建築部/李慶雲
包頭	華商建築部/李慶雲
太原	華商建築部/李慶雲
大同	華商建築部/李慶雲

卒業後の進路類型

・日本に長期間で滞在したタイプ

一部の建築留學生は卒業後、日本で長期に勤務していた。彼らは台湾出身あるいは在日華僑である場合が多い。

在日華僑は日本で教育を受ける機会があり、日本語も堪能であることが多い。同様に1945年以前の台湾は日本の植民地であり、台湾総督府による植民地支配の一環として日本語教育が行われていた。

従って、彼らは中国大陸出身の留學生に比べて日本語に堪能であり、日本国内での留学(進学)や日本国内での就職もしやすかったと考えられる。



日本留学中国人建築学生の帰国後の就職機関

教育機関

調査により、43名の建築留學生が大学、工業学校、専科学校や職業学校など55校の教育機関に働いていたことが判明した。

清末、清政府は留學生が帰国後、教育に従事し、学んだ外国の知識を中国の教育に活用することを希望していた。これは主に官費生に要求されている。

清末、中国の高等教育機関に建築の教育課程は開設されず、また、中華民国の初期に設けられた工業専門学校での建築教育は土木系で終わることが多かった。そのため、最初、日本建築留學生は帰国後、工業専門学校及び専科・職業学校の教員を務めることが多かった。



現在、中国で定められている建築の高等教育の発展は、1923年に日本留学中国人建築留學生が設立した公務部工業専門学校に建築科である。

それから四世紀を経て、中華人民共和國成立当初、全国(台湾、香港、マカオを除く)の8校が建築学科を設置していた。この8校は現職の建築留學生、留職留學生、天津大学、同济大学、ハルビン工業大学、南開理工大学、重慶大学、西安建築科技大学であり、中国建築の重要な影響力を持つようになった。そのうち、日本留学中国人建築留學生が勤務した6校の高等教育機関とその定置を次の図に示した。

これらの事業を踏まえると、中華人民共和國の成立後、建築に影響力を持った主要な学校のうち6校の設立と発展に多くの日本留学中国人建築留學生が貢献したといえる。

今後のプログラム

11月6日(月) ゲストスピーチ

11月20日(月) 「卓話」小澤会員、R情報委員会

12月4日(月) 「卓話」高瀬(英)会員、西山会員

11月13日(月) 担当：ロータリー財団委員会

11月27日(月) 担当：R情報委員会

12月11日(月) 「卓話」南会員、来住(周)会員

高瀬会長のテーマ：職業人としてプライドを持とう！